

# 総務委員会会議録

令和4年2月22日（火）  
（開 会） 13：22  
（閉 会） 13：41

## 【 案 件 】

### 1. 議案第1号 令和3年度 飯塚市一般会計補正予算（第10号）

#### ○委員長

ただいまから総務委員会を開会いたします。「議案第1号 令和3年度 飯塚市一般会計補正予算（第10号）」を議題といたします。執行部の補足説明を求めます。

#### ○財政課長

「議案第1号 令和3年度 飯塚市一般会計補正予算（第10号）」について、ご説明いたします。

「議案第1号」と表示しております令和3年度補正予算資料の3ページをお願いいたします。表の下に記載しておりますように、新型コロナウイルス感染症対策に要する経費を補正するもので、一般会計の既定の予算総額に1億2378万4千円を追加して、875億9129万4千円にしようとするものでございます。

4ページの補正予算概要書をお願いいたします。まず、歳入でございますが、国庫支出金につきましては、歳出予算に計上いたしております対象事業に係る財源を補正するものでございます。このうち、国庫支出金の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金につきましては、5500万6千円を追加するものでございます。繰入金では、今回の補正による財源調整といたしまして、財政調整基金繰入金を4882万7千円追加するものでございます。

次に、歳出でございますが、民生費、児童福祉総務費、新型コロナウイルス感染症対策事業費の子育て世帯等臨時特別支援事業費（市独自支援分）は、国の制度の対象外となる子育て世帯に対し、10万円の給付金を給付するもので、7374万4千円を計上するものでございます。

児童措置費、私立保育所等保育措置事業費の保育士等処遇改善臨時特例補助事業費、保育所費の職員給与費（任期付職員分及び保育士会計年度任用職員分）、それから青少年対策費、児童センター児童、児童クラブ運営事業費の児童クラブ運営事業費及び児童センター運営事業費につきましては、いずれも国が制度化した新型コロナウイルス感染症の対応の最前線で働く方の処遇改善に関する経費を補正するものでございます。なお、5ページに記載しております教育費の幼稚園費につきましても、同様の予算を計上いたしております。

5ページをお願いいたします。衛生費、予防費、新型コロナウイルス感染症対策事業費の地域外来検査センター運営費補助事業費では、令和2年度にも計上いたしました飯塚医師会が運営する地域外来検査センターの運営経費のうち、県補助の対象外となる事務調整員の経費を飯塚市、嘉麻市、桂川町で補助するもので、飯塚市補助分として258万9千円を計上するものでございます。医療機関デジタル化支援事業費では、新型コロナウイルスワクチン接種の予約システムを含めた医療機関のデジタル化の経費について補助するもので、2千万円を計上するものでございます。PCR検査等実施医療機関等支援事業費では、県事業で無症状者に対する無料検査をしておりますが、飯塚市内における無料検査を実施する医療機関等の増加を図るため、実施医療機関等を支援するもので、750万円を計上するものでございます。

繰越明許費の補正では、子育て世帯等臨時特別支援事業（市独自分）、IT導入等応援補助金につきましては、年度内の事業完了が見込まれないため追加し、子育て世帯等臨時特別支援事業につきましては、繰越額を増やす変更をするものでございます。

6 ページ以降に今回の補正に係る歳入歳出予算額の推移表及び基金の状況表を添付しております。内容の説明につきましては省略させていただきます。以上で説明を終わります。

○委員長

説明が終わりましたので質疑を許します。質疑はありませんか。

○瀬戸委員

衛生費の予防費、PCR検査等実施医療機関等支援事業費で、本会議の質疑で市の無症状者に対するPCRの検査機関が市内に75か所あれば足りるというような考えのように受け取れましたが、本当にそうなのでしょうか。

○健幸保健課長

議案質疑の際に答弁させていただきました75か所につきましては、あくまでも予算上の見積りでございます。本来であれば、より身近な機関で検査を受けられるのが一番よいということでございますので、1か所でも多くの機関で実施していただけるように、今回の補助金は予算化をしたものでございます。75か所につきましては、予算化する際に薬局等に実施の意向をお尋ねしたところ、リスクが高いといったご意見等もございまして、実施をするとその時点で言われているところが少なかったということもございまして、20%程度で計上したものでございます。もし、今回の75か所を上回る機関が、手を挙げていただければ、予算増額につきましても考えていく必要があるというふうに認識をしております。私どもの目標としましては、より身近なところで検査を受けられる体制づくりを考えておるところでございます。

○委員長

ほかに質疑はありませんか。

○小幡委員

同じ関連してPCR検査のほうから質問をしましょうかね。確かに本市、飯塚市においても100人以上の感染者が毎日のように出ておりますけれども、PCR検査を受けて、飯塚市で100人程度が出ているというのがわかっているんですよ。今回の予算は、無症状者もPCR検査を積極的に受けてもらおうとする機関を増やそうということでしょう。説明の中には355医療機関があるというふうになっていますけど、現在飯塚市では、PCR検査を受けられる施設は何施設あるのですか。その数字というのはわかりますか。

○健幸保健課長

この無料PCR検査の分の数字でよろしいでしょうか。今、登録がされている機関としましては13機関になります。

○小幡委員

現在は13機関しかないということですね。そのほかに355医療機関があるという感覚でいいのですか。

○健幸保健課長

355といいますのは病院と診療所、クリニック、薬局と合わせた全ての合計数でございます。この中の13機関が今現在無料のPCR検査を実施しているところでございます。

○小幡委員

ではマックス355あるんだね。その中で13機関はもう既に実施していただいていると。その後、75機関程度が参加してくれればいいなという予算ですかね。約2割の75施設が加わればいいということでしょうが、これは何、うちでもやろうと言ってくれた機関に10万円あげるよというやつでしょう。それは、その制約、その機関が、1機関が、薬局でもいいですよ、PCR検査をしましょうと日々何人するとかいう縛りはないわけですか。極端な話、1人でも2人でも構わない。手を挙げてくれれば10万円を支援しましょうという考えで、1機関当たり10万円という、1回きりでしょう。その点は、どのようになっていますか。

○健幸保健課長

今回の支援金につきましては、県のほうで登録をしていただいた機関に対して10万円を支援という形でお支払いをさせていただくもので、特段にその1日当たりの件数とかの要件等を今現在、設定するという考えを持ってはおりません。

○小幡委員

最終的にはこの予算を組みますよね、75施設と。それ以上が、手が挙がった場合は、追加予算的なものをまた考えるという方向ですか。

○健幸保健課長

先ほども答弁させていただきましたが、もし75を超えた場合には、予算増額についても検討してまいりたいと考えております。

○小幡委員

今の段階では、取りあえず2割程度、75施設を目標にということですね。わかりました。

募集をかけるというか、申請をお願いするんでしょうけれども、結論的にはこの75施設がPCR検査をやっただけで、やろうよというのは、飯塚市としてはいつまで公募をかけて、いつまでに締め切って、要は飯塚市民に、こういう医療機関が、こういう薬局がPCR検査をしてくれますよという公表できる設定した日数というか、日にちというか。今、飯塚市民はPCR検査を受けたいんだけど、どこに受けに行ってもいいかもわかんないんですよ、たった13施設しかないんでね。ですから、いつごろに市民に対して、案内できるのか。そこら辺は、設定されていますか。

○健幸保健課長

今回の支援のまず前提条件が、福岡県のほうが実施しておりますPCRの無料検査に登録をさせていただくということになっておりまして、今現在も福岡県のホームページでは確認ができる状況になっております。ここにつきましては飯塚市のほうでも周知がもっとできるように工夫を今から考えていきたいと思っておりますが、いつまで登録ができるのかということですが、これは3月末日までとなっております。これにつきましては、本日承認していただくことが出来ましたら関係機関、医師会や薬剤師会等のほうにお伝えをしに行きまして、1機関でも多くが登録をしていただけるように今から努めてまいりたいと考えております。ホームページの記録のほうにつきましては、順次県のほうも更新しておりまして、今地域ごと等での検索もできるようになっているところでございます。

○小幡委員

ちょっと予算から離れるけど、一市民が無症状であるだろうということで検査を受けたいと思ったときは、どういう行動をとればいいですか。このホームページなんかわかんない人もたくさんいますよね、年齢的には。その点、どういう案内をするか、どういう対処方法を考えておられますか。

○健幸保健課長

そういう方につきましては、飯塚市健幸保険課のほうにお電話等でお問合せをしていただきましたら、私たちのほうでご紹介をさせていただきたいというふうに考えております。現在もそういう対応はしているところでございます。

○小幡委員

次に、歳出の民生費、ページ数でいったら8ページかな、児童福祉総務費のところなんですけれども、これに国の制度の対象外となった子育て世帯に対して給付金を支給するというものですから、この文言どおり読めば、給付金は10万円ですから、1人当たり10万円と書いてあるんだよね。子育て世帯に対してですから、1世帯10万円じゃなくて、その世帯に2人おれば、20万円という感覚なんですか。

○子育て支援課長

質問委員がおっしゃるとおり、子ども1人10万円ですので、2人子どもさんがいらっしや

れば20万円というふうになります。

○小幡委員

対象者の見込みが735人程度だろうということで計上されていますけど、そもそも論として、この対象外、国の制度の対象外となった子どもさんは何が対象外だったのか、説明していただけますか。

○子育て支援課長

国の制度の対象が児童手当を受けてある方が対象でございました。そのうち、特例給付の方は対象外とされておりまして、特例給付というのがある一定の所得がある方、扶養の人数等で金額等はわかりますけど、そういった特例給付を受けてある方などが対象外とされておりまして。今回の市独自の支給については対象外となられた方などを対象としております。

○小幡委員

簡単に言えば、国の基準よりも所得が多い人が735人おってあると。そこには、国は給付しないけれども、市独自でやろうという考えですね。それが約735人おってあるだろうということですね。わかりました。

委員長、続けて質問します。これはどの段階で日数的に、どの段階で飯塚市に在住されていて、所得がこれぐらいの人たちを対象にされているのか。もしくは、飯塚市から転出されたとか、そのときはいたけど、今はいないとか、もしくは海外に今行かれるとか、そこら辺の基準はどういう考えで、査定されておりますか。

○子育て支援課長

今回の対象者は、9月30日の児童手当の特例給付を受けている方などが対象になっております。あとはそれ以降にお生まれになった新生児の方は、令和4年3月31日までに生まれになった方が対象になります。

○小幡委員

今ちょっと新生児の話がありましたけど、9月30日から今年の3月31日までに出生、生まれる子どもよね。ということは、未来に生まれる子ども、3月31日までに生まれれば、対象者になるという考えでよろしいですか。

○子育て支援課長

そのとおりでございます。

○委員長

ほかに質疑はありませんか。

○深町委員

私から最後に要望だけをお願いしたいんですけども、新型コロナ対策関連で1点要望します。飯塚市の無料で行われるPCR検査の機関が、今のところ聞くと75か所ぐらいということなんですけれども、周知徹底に対してホームページやチラシでされていると思いますが、高齢者やたくさんの方が見落とされているという、ホームページなんか見てない人もおられるし。私の知り合いも、じっとしているという人もたくさんおられたんですよ。だから防災行政無線、いつもコロナ対策をしてくださいという無線が毎日毎日入っていますけど、その辺も利用してでも、無症状の方でもこういう取組をやっていますので、どこに連絡くださいとか、そういうふうな通知をしていただければ、熱の出ている方が家でじっとして、もんもんとされている方が少なくなって、少しでも手助けができるんじゃないかなと思いますので、無線を使ってやるということを検討していただきたいということを要望して、私からのお願いとします。答弁は要りません。

○委員長

ほかに質疑はありませんか。

( な し )

質疑を終結いたします。討論を許します。討論はありませんか。

( 討論なし )

討論を終結いたします。採決いたします。「議案第1号 令和3年度 飯塚市一般会計補正予算(第10号)」については、原案のとおり可決することにご異議ありませんか。

( 異議なし )

ご異議なしと認めます。よって本案は原案どおり可決すべきものと決定いたしました。

これをもちまして総務委員会を閉会いたします。